



# 2016年度(平成29年3月期) 第2四半期 決算説明会

エーザイ株式会社  
2016年10月31日

# 将来見通しに関する注意事項



- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらの文言は、現在における見込み、予測、リスクを伴う想定、実質的にこれらの文言とは異なる現実的な結論、結果を招き得る不確実性に基づくものです。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特に製品に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制機関による審査期間や承認取得、国内外の保健関連改革、マネジドケア、健康管理コスト抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制など、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- また、承認済み製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす製造能力を構築する能力を欠く状況、原材料の入手困難、市場の受容が得られない場合などが含まれますが、これに限定されるものではありません。
- 新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項より、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、それを行う意図を有するものではなく、義務を負うものではありません。

# Plan 'EWAY 2025'の順調なスタート 領域集中戦略の進化により成長を達成



全リージョンで増収を達成（現地通貨ベース\*1）

グローバルブランド\*2の拡大

グローバルブランド合計 2Q累計売上収益 346億円(前同比116%)

為替影響や一時的要因を除く本業において  
売上収益、営業利益、当期利益の全ての成長を達成

集中領域における立地の選択とイノベーションの実現 フラッグシップドラッグの開発を加速化

## 神経領域 主な開発の進展

- E2609\*3 フェーズIII試験開始
- BAN2401\*3 フェーズII試験 800例の症例登録を達成
- Lemborexant\*4 アルツハイマー型認知症に伴う不規則睡眠覚醒リズム障害の適応取得をめざし、フェーズII試験を開始
- E2027 フェーズI試験で Proof of Mechanismを確認

## がん領域 主な開発の進展

- LENVIMA 腎細胞がん2ndライン\*5承認取得(米国:5月、欧州:8月)  
腎細胞がん1stライン フェーズIII試験開始  
ペムプロリズマブとの併用療法 欧州臨床腫瘍学会年次総会(ESMO2016)でフェーズIb試験の新たなデータを発表
- Halaven 米国・日本に続き、欧州で軟部肉腫\*6の適応を取得  
中国において新薬承認申請を達成
- H3B-6527 フェーズI試験開始
- H3B-8800 フェーズI試験開始
- E7046 フェーズI試験が順調に進行中

\*1 為替レートの変動による影響を除いた実績(2016年度第2四半期累計実績を前年同期の期中平均為替レートで円換算して算出) \*2 LENVIMA、Halaven、Fycopma、BELVIQ

\*3 Biogen社との共同開発 \*4 Purdue Pharma社との共同開発 \*5 エベロリムスとの併用療法 \*6 米国、欧州での適応症:脂肪肉腫、日本での適応症:悪性軟部腫瘍

# 2016年度第2四半期 連結業績(IFRS)

## 大幅増益を達成し、財務の健全性を確保



(億円、%)

	2015年4-9月		2016年4-9月		
	実績	売上比	実績	売上比	前同比
売上収益	2,755	100.0	2,699	100.0	98
売上原価	995	36.1	982	36.4	99
売上総利益	1,760	63.9	1,717	63.6	98
研究開発費	628	22.8	550	20.4	87
販売管理費	964	35.0	870	32.2	90
その他の損益	13	0.5	88	3.3	673
営業利益	181	6.6	386	14.3	213
四半期利益	111	4.0	296	11.0	266
四半期利益(親会社所有者帰属)	110	4.0	279	10.3	253
ROE(%)	3.7		10.0		
フリーキャッシュフロー	233		472		
	2016年3月末実績		2016年9月末実績		
Net DER*(倍)	0.01		△0.01		

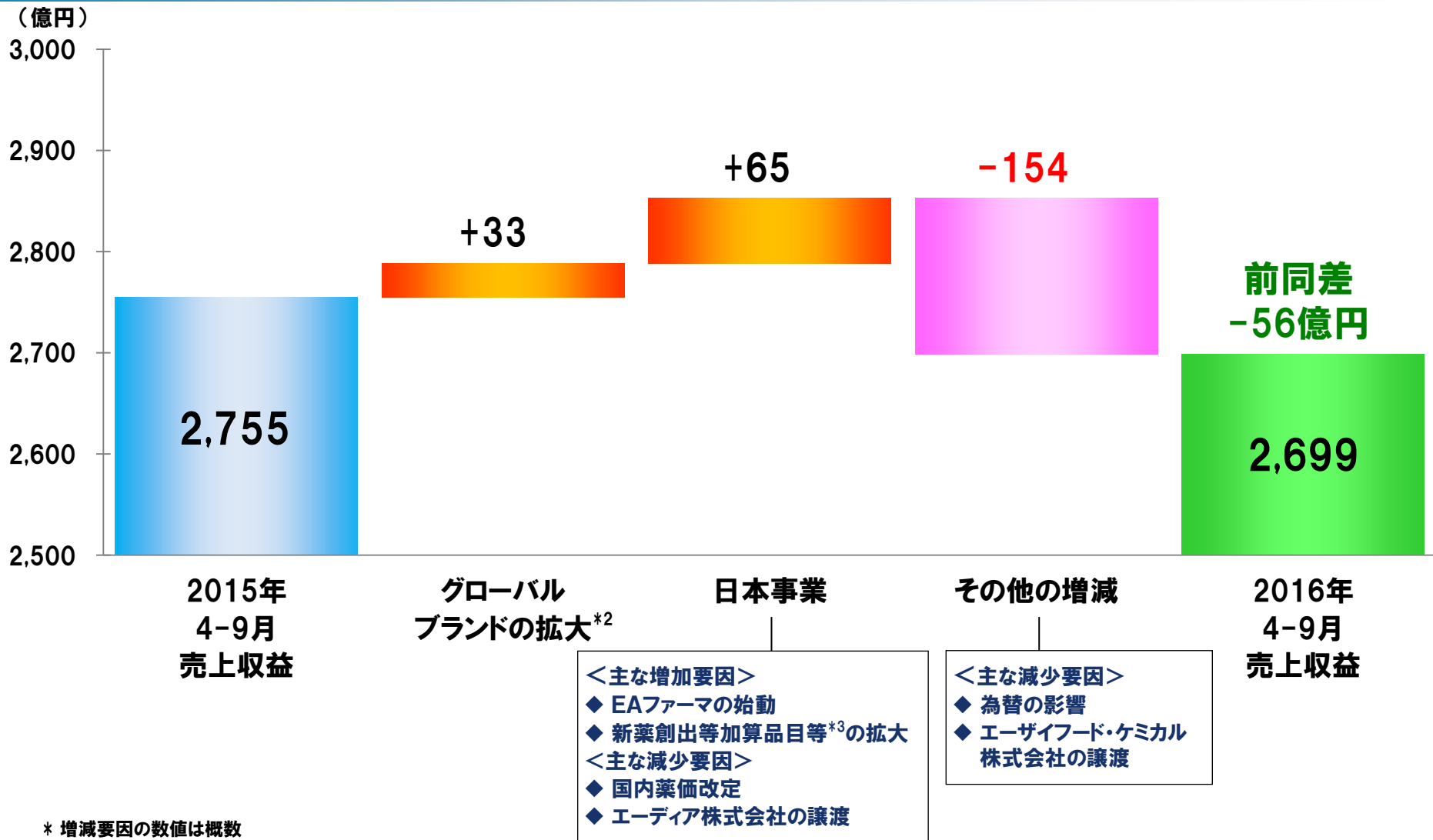
2016年度第2四半期期中平均レート

米ドル:105.28円(前期変動率△13.6%)、ユーロ:118.14円(同△12.5%)、英ポンド:144.87円(同△22.8%)、人民元:15.93円(同△18.0%)

\* Net DER: Net Debt Equity Ratio=(有利子負債(社債及び借入金)-現金及び現金同等物-3カ月超預金等)÷親会社の所有者に帰属する持分

# 売上収益の増減要因分析

## グローバルブランド\*1、日本事業が拡大



\* 増減要因の数値は概数

\*1 LENVIMA、Halaven、Fycompa、BELVIQ

\*2 日本事業の実績は除く

\*3 新薬創出等加算品目を中心とした13品目：ハラヴェン、レンビマ、フィコンパ、ヒュミラ、ルネスタ、マクサルト、ホストイン、ケアラム、イノベロン、ナーブロック、ギリアデル、トリアキシン、リリカ(アライアンス収入)

# 2016年度2Q累計 医薬品事業 地域別売上収益 全リージョンで増収を達成(現地通貨ベース<sup>\*1</sup>)



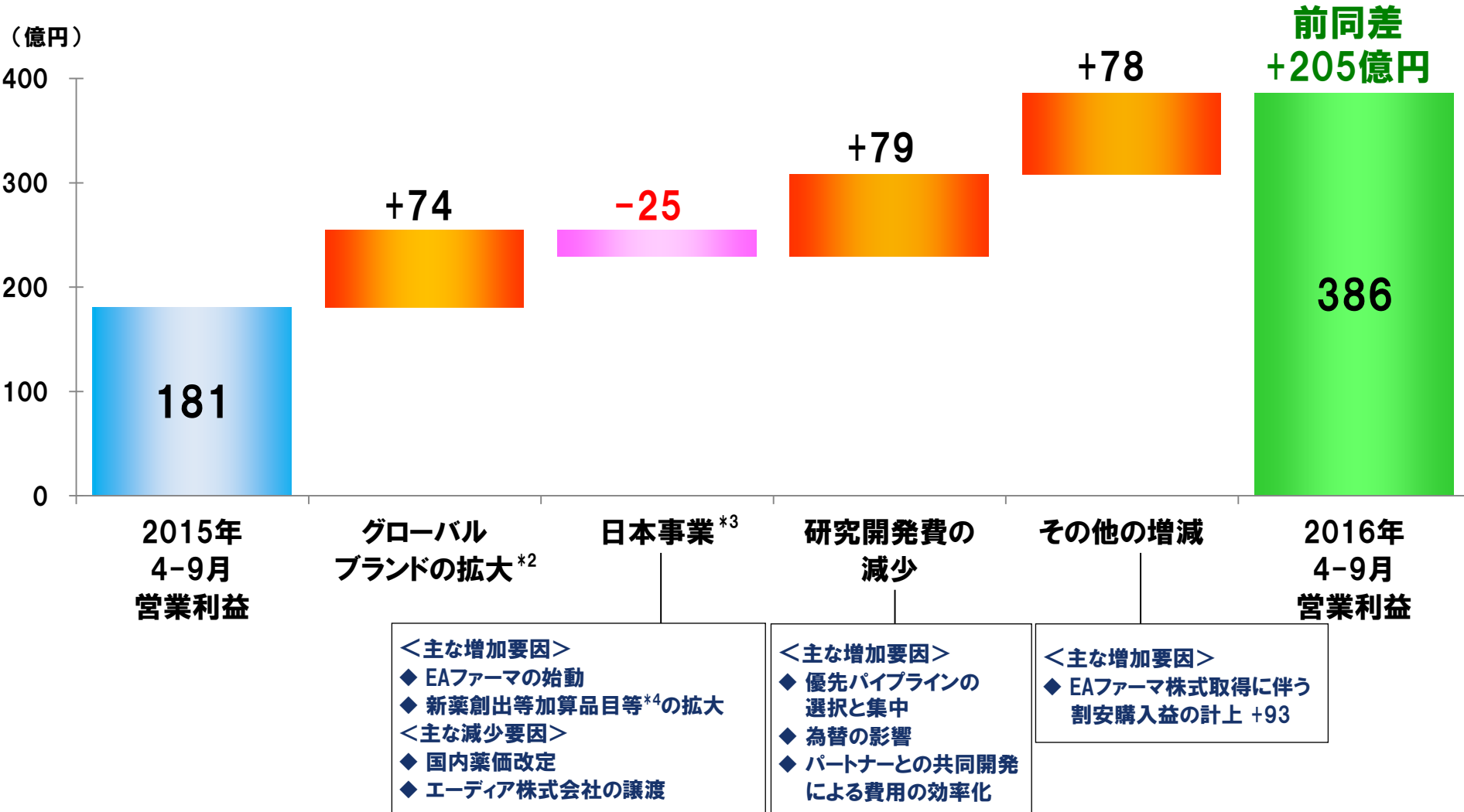
\*1 為替レートの変動による影響を除いた実績(2016年度第2四半期累計実績を前年同期の期中平均為替レートで円換算して算出)

\*2 新薬創出等加算品目を中心とした13品目:ハラヴェン、レンビマ、フィコンパ、ヒュミラ、ルネスタ、マクサルト、ホストイン、ケアラム、イノベロン、ナーブロック、ギリアデル、トリアキシン、リリカ(アライアンス収入)

\*3 メチコバル、アリセプト、強力ネオミノファーゲンシー/グリチロン、バリエット \*4 転移性乳がんセカンドライン、悪性軟部腫瘍 \*5 欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア

# 営業利益の増減要因分析

## グローバルブランド\*1の拡大、費用の効率化が増益に貢献



\* 増減要因の数値は概数

\*1 LENVIMA、Halaven、Fycompa、BELVIQ \*2 LENVIMA、Halaven、Fycompa、BELVIQの営業利益を表示、日本事業の実績は除く \*3 セグメント利益を表示

\*4 新薬創出等加算品目を中心とした13品目：ハラヴェン、レンビマ、フィコンパ、ヒュミラ、ルネスタ、マクサルト、ホストイン、ケアラム、イノベロン、ナーブロック、ギリアデル、トリアキシン、リリカ(アライアンス収入)

**アルツハイマー病に対するホリスティックな治療手段の提供**

**攻撃因子**

**周辺症状**

**睡眠障害**

**てんかん治療についての探索研究を含む包括的なアプローチ**



# 日本発の医療知で世界を変える Preemptive Medicineの実現に向けて大きく前進



**E2609\*1**

**フェーズIIIプログラム MISSION AD(AD1、AD2)\*2を開始  
AD1でFirst Patient In (観察期間への登録)を達成**

## 臨床試験で確認された E2609の特徴

- 経口摂取後速やかに吸収され、  
A $\beta$ 産生を抑制する
- 一日一回投与に適した半減期と  
酵素阻害プロファイルを有する
- 良好な脳内移行性を示し、CSF中の  
A $\beta$ 濃度を用量依存的に減少させる
- 活性代謝物がなく、反復投与による  
E2609の蓄積性はない
- 治療域における安全性は良好である

## 米国FDAとの合意に基づく効率的な 試験デザイン

- 対象はA $\beta$ ポジティブの  
早期アルツハイマー病(Prodromal AD及び  
早期段階軽度AD)患者様とする
- 主要評価項目は24カ月後のCDR-SBとする
- E2609用量は、50mg1群とする
- 目標患者様数1,330例  
(E2609群:プラセボ群=1:1)
- 安全性は通常の臨床検査で  
モニタリングする

MISSION AD

**2020年度 トップライン(AD1、AD2)結果取得予定**

# 次世代アルツハイマー型認知症治療薬 抗体医薬 開発の進展



**BAN2401**<sup>\*1</sup>

**フェーズII試験進行中**

- **症例登録の加速により、9月に Last Patient Inを達成(800例)**
  - IMC<sup>\*2</sup>は試験継続を推奨
  - LPI<sup>\*3</sup>後に中間解析<sup>\*4</sup>を3カ月毎に実施予定
  - LPIの12カ月後にトップラインデータ解析(主要評価項目<sup>\*5</sup>)、18カ月後にフル解析(副次評価項目<sup>\*6</sup>)を実施予定
- **フェーズII試験結果がポジティブな場合、承認申請要件を満たす試験としての活用について当局と協議中**

**Aducanumab**<sup>\*7</sup>

**フェーズIII試験進行中**

- **欧州医薬品庁(EMA)のプライオリティ・メディシンス(PRIME)制度の対象へ(6月)**
- **米国FDAよりFast Trackに指定(9月)**
- **フェーズIb試験の中間結果がNature(2016年9月1日号)に掲載<sup>\*8</sup>**

\*1 Biogen社との共同開発 \*2 Independent Monitoring Committee 独立モニタリングコミッティー \*3 Last Patient In

\*4 ベイジアンアダプティブデザインでの中間解析における早期成功のクライテリア:投与開始から12カ月後に最適用量とプラセボとの差が少なくとも25%(1年間におけるAlzheimer's Disease Composite Score (ADCOMS)の点数の変化に対する改善の度合い)となる確率が95%以上 \*5 Alzheimer's Disease Composite Score(ADCOMS)

\*6 副次評価項目(3項目):ADCOMS(18カ月時点)、vMRIで測定したトータル海馬体積(6、12、18カ月時点)、アミロイドPETで測定した脳内アミロイドレベル(12、18カ月時点)

9 \*7 Biogen社が開発中、エーザイは共同開発・共同販促のオプション権を保有 \*8 Nature 537, 50-56, The antibody aducanumab reduces Aβ plaques in Alzheimer's disease

## 2つの適応症で2019年度の上市をめざす

### 不規則睡眠覚醒リズム障害 (ISWRD\*<sup>2</sup>)

アルツハイマー型認知症患者様を対象とした  
ファーストインクラスのISWRD治療剤をめざす

- 米国FDAとのプレIND\*<sup>3</sup>ミーティングを実施（7月）
- **アルツハイマー型認知症患者様を対象としたフェーズII試験を開始（10月）**

多くのアルツハイマー型認知症患者様が罹患するISWRDを  
Lemborexantによりオレキシン機能を正常に近づけることで  
自然な睡眠覚醒リズムに戻す

### 不眠障害 高齢者にも安全なベストインクラスの不眠障害治療剤をめざす

フェーズII試験結果から、有意な睡眠導入および睡眠維持効果を示し、  
**翌日の残存する眠気を増加させないことが示唆される用量を設定**

- **2本のフェーズIII試験を開始**  
304試験(5月開始):実薬「zolpidem」対照試験(対象:55歳以上)  
303試験(10月開始):6カ月の長期プラセボ対照試験(対象:40%が65歳以上)

# 新規作用機序の追究により てんかん領域の高いアンメットメディカルニーズに挑む

## 複数ブランドで患者様貢献

### Fycompa

自社創製の非競合型AMPA受容体拮抗剤  
(現在50カ国以上で承認)

- 日本での上市達成(5月)  
国産のてんかん治療薬で、既に2,000名を超える、  
発作コントロール困難なてんかん患者様に貢献
- 部分てんかん単剤療法 米国で適応追加申請(9月)、  
欧州で添付文書へのデータ追加申請(9月)  
部分てんかんの薬物治療における  
ファーストチョイスのポジショニング確立をめざす
- 小児適応 フェーズIII試験を開始(10月)
- レノックス・ガストー症候群 フェーズIII試験を開始(10月)

上市済みの  
てんかん治療剤

Inovelon /Banzel

Zebinix

Fostoin

Zonegran

## 患者様 支援ツール

EMILY

てんかん支援スマートフォン・アプリ

## 新規作用機序の追究

### E2730

新規のシナプス機能モジュレーター

- 2016年度3Q IND\*申請予定
- 2016年度4Q フェーズI試験開始予定

活性化状態にあるシナプス機能を選択的に調整する  
てんかん等の新たな神経領域疾患治療薬をめざす

### E2082

次世代AMPA受容体拮抗剤

- 2017年度IND\*申請予定

複数の神経領域疾患に対する可能性を追究

かかりつけ医やご家族と服薬や発作の状況を共有  
SOS機能により発作が起こった場合の危険を回避  
てんかんと共に暮らせるコミュニティづくりをめざす

## Curative Stageの実現に向けての イノベーション

自社創製のGlobal旗艦商品を  
複数持つ強み

# Curative Medicineの実現に向けて

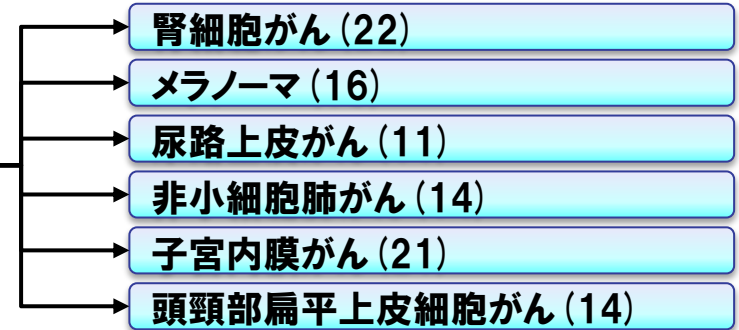
## ペムブロリズマブとの併用療法 フェーズIb/II試験のフェーズIIパート進行中（98例達成）\*1

**レンバチニブ**  
 20 mg  
 1日1回投与  
 （フェーズII試験推奨用量）

+

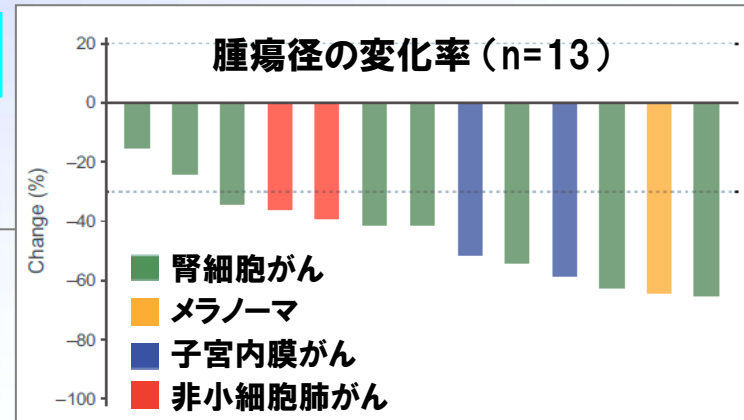
**ペムブロリズマブ**  
 200 mg  
 3週に1回投与  
 （21日サイクル）

n = 60~120



### フェーズIb試験の中間解析データをESMO2016で発表\*2

- 複数の前治療歴を持つ  
難治性の患者様全てで腫瘍が縮小
- 中間解析時点での4つのがん種\*3で部分奏効
- 安全性について、これまで得られている知見以外のものは  
観察されなかった



## 2020年度以降の上市をめざす

\*1 2016年10月10日現在の組み入れ

\*2 欧州臨床腫瘍学会年次総会 (European Society for Medical Oncology: ESMO2016) でポスター発表 抄録番号: 1779 Matthew H. Taylor *et al.*

\*3 フェーズIb/II試験のIbパートでの中間解析データにおける全てのがん種 (腎細胞がん、メラノーマ、子宮内膜がん、非小細胞肺癌)

# LENVIMA 一次治療のスタンダードをめざして

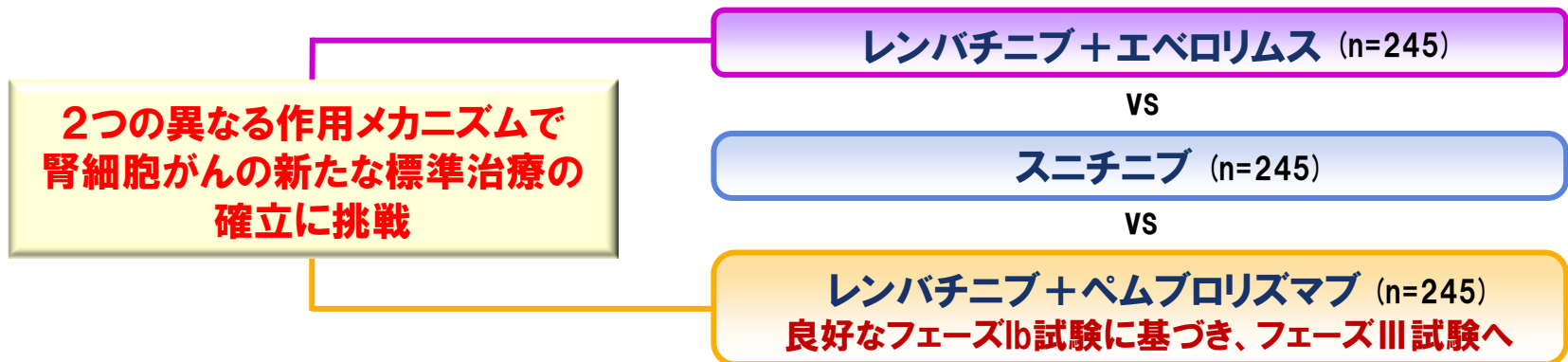
## 肝細胞がん1stライン フェーズIII試験進行中

レンバチニブ単剤投与群とソラフェニブ単剤投与群を比較、  
主要評価項目:全生存期間(OS)、目標症例数 940例達成済み

**2016年度中にグローバル申請予定**

## 腎細胞がん1stライン 2016年9月 フェーズIII試験(307試験)を開始

「レンバチニブ/エベロリムス」、「レンバチニブ/ペムブロリズマブ」の2つの併用療法を同時開発



**2019年度中のトップライン結果取得をめざす**



## Curative Medicineの実現に向けて

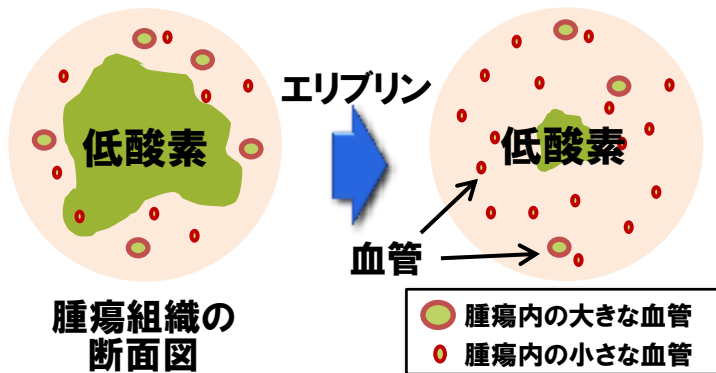
### 併用療法の開発（上市目標：2020年度以降）

#### ペムブロリズマブ との併用療法

- ・ 転移性トリプルネガティブ乳がんを対象（目標症例数：95例）
- ・ フェーズIb/II試験のフェーズIIパート進行中
- ・ **中間データを発表予定**

前臨床ならびにトランスレーショナル研究の結果が示唆するエリ布林と抗PD-1抗体の併用メカニズム（仮説）

- 腫瘍血管リモデリング作用  
抗体医薬の腫瘍部位透過性の亢進



- 間葉－上皮移行作用  
抗PD-1抗体抵抗性に関連する  
間葉系表現型を上皮系表現型に変換



エリ布林の作用により、抗PD-1抗体が効きやすい腫瘍環境へ変化している可能性



# H3 Biomedicineにおける創薬



## 革新的プレジジョンメディシン候補の臨床試験を開始

### H3B-6527 FGFR4阻害剤

#### フェーズ I 試験

#### 11月にFirst Dosingを予定

➤ 肝細胞がんの約35%<sup>\*1</sup>でドライバー遺伝子であるFGF19(FGFR4のリガンド)の過剰発現があり、肝細胞がんの新たな治療をめざす

- ✓ フェーズ I 試験は、北米・欧州・アジアにて、進行性切除不能肝細胞がん患者様を対象に実施中
- ✓ 肝細胞がん2ndラインでの迅速審査をめざす
- ✓ さらなる開発の可能性：単剤または併用による肝細胞がん1stライン

### H3B-8800 SF3B1モジュレーター

#### フェーズ I 試験

#### 10月にFirst Dosingを達成

➤ 骨髄異形成症候群(MDS)の約20%<sup>\*1</sup>でSF3B1遺伝子変異が発現、他のスプライシング因子の遺伝子変異を含めると約60%<sup>\*1</sup>となり、進行性血液がんの新たな治療をめざす

- ✓ フェーズ I 試験は、北米・欧州にて、進行性血液がん患者様(MDS、CMML<sup>\*2</sup>、AML<sup>\*3</sup>)の特定の患者様における活性を精査する投与群も設定
- ✓ フェーズ II 試験は、スプライシング因子に変異のあるMDSで申請対応試験としての実施を検討中
- ✓ CMMLでは早期開発の可能性を検討
- ✓ さらなる開発の可能性：sAML<sup>\*4</sup>、CLL<sup>\*5</sup>、肺がん、ブドウ膜黒色腫など

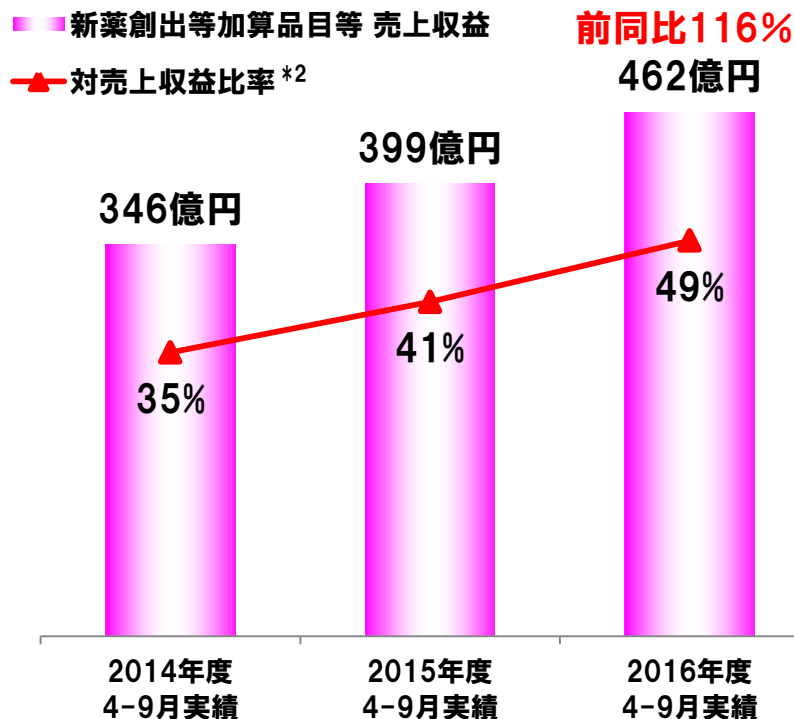
**エーザイ初のプレジジョンメディシンとして2020年度の上市をめざし開発を加速**

## 新薬創出等加算品目等<sup>\*1</sup>の拡大、EAファーマでの開発の進展

2Q累計 売上収益1,497億円(前同比105%)

### エーザイ・ジャパン 新薬創出等加算品目等の拡大

新薬創出等加算品目等 売上収益推移



### EAファーマ 開発の進展

**AJG533<sup>\*3</sup>(エロビキシバット)**  
慢性便秘症治療薬  
フェーズIII試験で主要評価項目を達成(9月)  
主要評価項目:自発排便<sup>\*4</sup>回数の変化量の改善

**AJG511<sup>\*5</sup>(ブテソノド)**  
潰瘍性大腸炎治療薬  
EAファーマ発足後初となる  
新薬承認申請を達成(10月)

**パリエット**  
難治性逆流性食道炎の維持療法  
用法・用量追加申請を達成(10月)

\*1 新薬創出等加算品目を中心とした13品目:ハラヴェン、レンビマ、フィコンバ、ヒュミラ、ルネスタ、マクサルト、ホストイン、ケアラム、イノベロン、ナーブロック、ギリアデル、トレアキシン、リリカ(アライアンス収入) \*2 新薬創出等加算品目等13品目の売上収益/医療用医薬品(EAファーマ製品を除く)の売上収益

\*3 持田製薬株式会社との共同開発 \*4 下剤・浣腸あるいは排便なしに発現する排便 \*5 キッセイ薬品工業株式会社との共同開発

# 2016年度 連結業績見通し(IFRS)



本業での成長回帰により、EWAYの初年度はほぼ計画通りのスタートを実現

(億円、%)

	2015年度		2016年度		
	実績	売上比	見通し	売上比	前期比
売上収益	5,479	100.0	5,480	100.0	100
売上原価	1,945	35.5	1,990	36.3	102
売上総利益	3,535	64.5	3,490	63.7	99
研究開発費	1,223	22.3	1,162	21.2	95
販売管理費	1,928	35.2	1,810	33.0	94
その他の損益	136	2.5	82	1.5	60
営業利益	519	9.5	600	10.9	116
当期利益	550	10.0	440	8.0	80
当期利益(親会社所有者帰属)	549	10.0	413	7.5	75
EPS(円)	192.2		144.4		75
ROE(%)	9.4		7.5		
DOE(%)	7.3		7.8		
配当金(円)	150		150		

2015年度期中平均レート

2016年度第3～4四半期期中平均予想レート

米ドル: 120.14円、ユーロ: 132.57円、英ポンド: 181.30円、人民元: 18.85円

米ドル: 101円、ユーロ: 113円、英ポンド: 131円、人民元: 15円

# 参考資料

# セグメント売上収益



(億円、%)

	2015年4-9月		2016年4-9月		
	売上収益	構成比	売上収益	構成比	前同比
日本*1	1,432	52.0	1,497	55.5	105
アメリカス*2	606	22.0	569	21.1	94
中国	261	9.5	234	8.7	90
アジア*3	173	6.3	171	6.3	99
EMEA*4	202	7.3	182	6.7	90
医薬品事業計	2,674	97.0	2,652	98.3	99
その他事業	81	3.0	47	1.7	57
連結売上収益	2,755	100.0	2,699	100.0	98

\*1 医療用医薬品、ジェネリック医薬品、一般用医薬品 \*2 北米、中南米 \*3 韓国、台湾、香港、インド、アセアン等 \*4 欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア

# セグメント利益



(億円、%)

	2015年4-9月			2016年4-9月			
	セグメント利益	構成比	利益率	セグメント利益	構成比	利益率	前同比
日本*1	581	68.2	40.6	556	60.9	37.1	96
アメリカス*2	90	10.6	14.9	162	17.7	28.4	180
中国	78	9.2	30.1	73	8.0	31.3	93
アジア*3	46	5.4	26.5	47	5.2	27.8	104
EMEA*4	44	5.2	21.8	66	7.3	36.6	151
医薬品事業計	840	98.5	31.4	904	99.0	34.1	108
その他事業	12	1.5	15.3	9	1.0	19.3	72
セグメント利益計	852	100.0	30.9	913	100.0	33.8	107
研究開発費および 親会社の本社管理費等	△671			△621			
割安購入益*5				93			
子会社株式売却益*6				1			
連結営業利益	181		6.6	386		14.3	213

\* 当連結会計年度より、医薬品事業およびその他の事業のセグメント利益の算定方法を変更し、連結損益計算書の「その他の損益」を医薬品事業とその他の事業へ配分せず、その全額を「親会社の本社管理費等」に含めて表示

\*1 医療用医薬品、ジェネリック医薬品、一般用医薬品 \*2 北米、中南米 \*3 韓国、台湾、香港、インド、アセアン等 \*4 欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア

\*5 2016年4月にEAファーマ株式取得に伴い割安購入益を計上 \*6 2016年4月にサンノーバ(株)を譲渡

# 日本医薬品事業の業績



(億円、%)

	2015年4-9月		2016年4-9月		
	実績	売上比	実績	売上比	前同比
売上収益	1,432	100.0	1,497	100.0	105
医療用医薬品計	1,182	82.5	1,267	84.6	107
ヒュミラ	157	11.0	190	12.7	121
アリセプト	215	15.0	164	11.0	76
リリカ*1	118	8.3	119	7.9	100
パリエット*2, 3	157	10.9	115	7.7	73
メチコパール	106	7.4	96	6.4	91
ハラヴェン	34	2.4	40	2.7	116
ルネスタ	29	2.0	38	2.5	132
ワーファリン	39	2.7	36	2.4	93
リーバクト*2			34	2.3	
エレンタール*2			34	2.3	
アクトネル	33	2.3	30	2.0	92
レンビマ	6	0.4	14	0.9	225
フィコンパ			2	0.1	
ジェネリック医薬品	132	9.2	135	9.0	103
一般用医薬品等	90	6.3	95	6.4	106
診断薬	29	2.0			
セグメント利益	581	40.6	556	37.1	96

# アメリカス医薬品事業の業績



(億円、%)

	2015年4-9月		2016年4-9月			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	
売上収益	606	100.0	569	100.0	94	[109]
Aloxi	275	45.5	241	42.4	88	[101]
ハラヴェン	90	14.8	83	14.6	93	[108]
レンビマ	32	5.4	69	12.2	213	[247]
Banzel	61	10.0	64	11.2	105	[121]
アシフェックス	43	7.1	35	6.2	83	[96]
Fycompa	16	2.7	23	4.0	139	[161]
BELVIQ	26	4.3	16	2.9	63	[73]
セグメント利益	90	14.9	162	28.4	180	[208]

[ ]内は現地通貨ベース



# 中国、アジア\*医薬品事業の業績



## <中国>

(億円、%)

	2015年4-9月		2016年4-9月		
	実績	売上比	実績	売上比	前同比
売上収益	261	100.0	234	100.0	90 [109]
メチコバル	103	39.5	88	37.5	85 [104]
強力ネオミノファーゲンシー/グリチロン	48	18.4	40	17.2	84 [102]
アリセプト	27	10.5	29	12.5	107 [130]
パリエット	18	6.8	18	7.7	102 [124]
セグメント利益	78	30.1	73	31.3	93 [129]

[ ]内は現地通貨ベース

## <アジア>

(億円、%)

	2015年4-9月		2016年4-9月		
	実績	売上比	実績	売上比	前同比
売上収益	173	100.0	171	100.0	99 [116]
アリセプト	51	29.6	48	28.0	93 [109]
ヒュミラ	46	26.6	47	27.8	103 [121]
パリエット	18	10.2	17	10.1	98 [115]
メチコバル	17	10.0	14	8.1	80 [95]
ハラヴェン	9	5.2	10	5.9	112 [132]
セグメント利益	46	26.5	47	27.8	104 [124]

\* 韓国、台湾、香港、インド、アセアン等

[ ]内は現地通貨ベース

# EMEA\* 医薬品事業の業績



<EMEA>

(億円、%)

	2015年4-9月		2016年4-9月		
	実績	売上比	実績	売上比	前同比
売上収益	202	100.0	182	100.0	90 [105]
ハラヴェン	66	32.7	53	29.3	81 [95]
ゾネグラン	41	20.2	28	15.5	69 [81]
Fycompa	16	7.7	21	11.6	135 [158]
Zebinix	19	9.2	17	9.4	92 [106]
レンビマ	2	1.0	12	6.6	595 [697]
イノベロン	11	5.3	9	5.1	87 [102]
セグメント利益	44	21.8	66	36.6	151 [169]

\* 欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア

[ ]内は現地通貨ベース